

教職概論	1 年・前期	教 授 平沢 信康
------	--------	-----------

1. 授業のねらい・概要

本講義では、教職の意義、教師の役割や職務内容等に関する理解を通して、教職について多角的に考察する。教育職員免許状取得を希望する受講者が、教職という専門職のありようを考えめぐらせ、将来選択する進路を考える一基盤とする。併せて、これからの時代に必要とされる教員の資質能力並びにその向上に関して必要な教職教養を習得することを目的とする。

2. 授業の進め方

基本的には、講義内容を示した講義要旨（レジュメ）を配布し、講義形式で進めるが、適宜タブレットで統計データや条文、資料を検索して学ぶアクティヴ・ラーニング形式を取り入れる。

また、教職に対して受講者が抱いている課題意識や被教育体験を発表する機会も設ける。

3. 授業計画

1. 教職と教師について	10. 教師のメンタルヘルス—バーン・アウトと増える病気休職者
2. 教員の養成—その歴史と現状	11. 教職員組合の歴史と現状
3. 教育職員免許状について	12. 「不適格教員」—いわゆる〈問題教師〉対策と教員の身分保障
4. 「信用失墜行為」について—教師たちの不祥事	13. 教員の人事評価制度—近年の改革動向について
5. 教員の採用と任命	14. 教職に求められる望ましい資質能力とは何か？—「チーム学校」を意識して
6. 服務義務と条件付き採用、新しい任用制度と臨時的任用	15. 理想の教師像を求めて—教師の力量形成を考える
7. 多様な研修制度	
8. 統計から見た教職の実態と教員の職責	
9. 教職の勤務状況とストレス	

4. 成績評価の方法・基準

平常点，学期末試験を総合して評価する。

○出席について：全回出席を原則とする。

○遅刻・早退は，原則として欠席とみなす。

○平常点について：各回講義の内容に寄せる関心・意欲・態度など学習態度を評価対象とする。

○試験について：学期末に筆記試験を課す。

○評価点の配分割合：平常点（50％），期末試験（50％）とする。

5. テキスト・参考文献

参考書：佐藤晴雄『教職概論 [第3次改訂版]』学陽書房，2010 年

6. 受講上の留意事項

高等学校教員（商業科）として、教職に就くことを強く希望する学生の受講を望む。